

スチューデント・アクション・プロジェクト

「甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ」

環境啓発シンポジウム

循環型コミュニティの創造とパートナーシップ

甲南大学におけるゴミの4分別化をめぐる

2003年3月12日(水) 17:00-19:30

甲南大学 8号館 821 教室

主 催

スチューデント・アクション・プロジェクト

「甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ」

(甲南大学文学部・谷口ゼミナール)

共 催

総合研究所「環境教材の国際ネットワーク化」研究チーム

省資源・省エネルギー実行委員会

協 力

甲南大学学生部・管財部・生活協同組合・清掃業者・守衛室・対馬造園店

目 次

1 . プログラム1
2 . 挨拶 環境啓発シンポジウムの開催にあたって	
谷口 文章 (文学部 教授)3
3 . スチューデント・アクション・プロジェクト成果報告 甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ	
松田 拓也 (文学部 谷口ゼミナール代表)4
4 . 環境啓発シンポジウム 「循環型コミュニティの創造とパートナーシップ 甲南大学におけるゴミの4分別化をめぐる」 コーディネーター：谷口 文章 (文学部 教授)	
学生のクリーン作戦について	
植村 亮介 (学生部課長)8
ゴミ箱の数とゴミの量、処理コストの変化	
松澤 喜一 (管財部課長) 佐野 汎司 (管財部)10
キャンパスの緑化について	
戸田 健【(株)対馬造園店】(造園業者)19
分別開始後のゴミの量とその状況について	
南方 幹生【関西明装(株)清掃部】(清掃業者)21
甲南大学におけるゴミの4分別化をめぐる	
広野 剛史【(株)神戸エコーサービス】(清掃業者)24
大学施設の利用マナーの現状	
松原 勤【関西明装(株)警備部】(守衛室)30
摂津祭でのリサイクル活動ならびにその他の取り組み	
隅田 幸博 (甲南大学生生活協同組合専務理事) 長谷川 真一郎 (甲南大学生生活協同組合理事会室)	...31

挨拶

環境啓発シンポジウムの開催にあたって

谷口 文章（甲南大学文学部 教授）

今日、酸性雨、地球温暖化、森林伐採、農薬汚染、廃棄物処理などさまざまな環境問題が深刻化しています。このようなさまざまな環境問題の解決を目指して、甲南大学文学部 人間科学科 谷口ゼミナールでは「環境復元と環境創造」をテーマに活動を行なっています。地球環境問題の解決にあたっては、一般的に“Think Globally, Act Locally（グローバルに考えて、ローカルに行動する）”ということがいわれて久しいですが、わたしたちのゼミナールではローカルな活動とグローバルな活動を展開しています。

まずローカルな活動として、自然環境問題である奇形ザルの問題、社会環境問題である水俣病をめぐる問題をテーマにし調査活動を継続して行なっています。また、近年においては甲南大学のキャンパス内及び甲南大学環境教育野外施設（広野グラウンド）において、環境教育の活動を展開しています。活動の一環としましては、キャンパス内の花いっぱい運動や野外施設での有機農法による農作業などのフィールド・ワーク、また甲南3法人教育プロジェクト（甲南幼稚園/甲南小学校/甲南中・高等学校/甲南女子中・高等学校）にともなう環境教育ボランティア活動などを行なっています。また、環境教育野外施設（1999年施工）と甲南大学キャンパス内（2001年施工）においてピオトープ（生命の生息域）をつくることによって、自然環境の復元も試みています。

さらにグローバルな活動として、タイ・中国・カナダ・ロシアなどと連携し定期的に国際会議を開催しています。研究者間での会議の開催とともに、サテライトで学生会議を行なうなど、若い世代間での意見交流を行ない、国際的な環境問題解決のためのネットワークを促進しています。

これらの活動を通して、私たちは社会・経済や環境のあり方、また日々の生活における価値観が徐々に変化し、最終的には私たちのライフスタイルが変革することをめざしています。そして、このような「循環型コミュニティ」をめざすなかで、地域コミュニティを始めとするパートナーシップのネットワーク化が重要であると考えました。

そして、2001年度スチューデント・アクション・プロジェクトとして、「甲南大学における循環型コミュニティの創造」のための活動を行なってきました。甲南大学内の環境意識を高め、循環型コミュニティの創造を実現するために、ローカルな環境活動として、大学キャンパスにおいて、ゴミ分別キャンペーン、ピオトープの創造、花いっぱい運動などを実施しました。また、環境教育野外施設において、農作業・ピオトープ観察・環境教育カウンセラーの養成などを行ないました。さらにローカルな活動での実践を基盤とし、グローバルな活動を行なうことで地球規模の循環型コミュニティの創造活動につなげるため、定期的な国際会議、学生会議、さらにはインターネットによる国際的なネットワーク化をめざしています。

さらに2002年度のスチューデント・アクション・プロジェクトとして、2001年度の活動内容の「甲南大学の循環型コミュニティの創造」の継続活動に加え、「パートナーシップ」の構築をめざしました。

このような活動の結果、キャンパスにおいて、ゴミ箱の4分別化が開始され2年が経過し、またキャンパス緑化が促進されました。また、環境教育野外施設において、甲南小学校・甲南中・高等学校、甲南女子中・高等学校の生徒とともに竹細工や農作業などのフィールド・ワークを行なうなど、環境教育による高大連携の実践も促進されました。また地域住民との連携として、神戸市建設局東部建設事務所水環境センター（神戸市東灘区）「ピオトープ構想計画」を通じて、さらに地域コミュニティにおけるパートナーシップの拡充も試みています。

以上の活動の中におきまして、特に2年間に通じて活動を展開してきましたゴミの分別回収を通して、甲南大学にかかわる人々のさらなる環境意識の向上と循環型コミュニティをめざす上でのパートナーシップの強化がめざされます。本企画を通じまして、環境啓発の意識が深められ、さらにパートナーシップの促進につながることを期待しています。

今回の催しにあたりましては、大学学生部・管財部・大学生生活協同組合・清掃業者・守衛室・対馬造園など諸機関の皆さまに御協力と御参加を賜りました。心より御礼を申し上げます。

スチューデント・アクション・プロジェクト成果報告

甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ

松田 拓也（文学部人間科学科 谷口ゼミナール代表）

1. はじめに

- (1) 2001 年度「甲南大学における循環型コミュニティの創造」の実施成果の概要
 - ・甲南大学キャンパスにおける循環型コミュニティの創造
 - ゴミ分別キャンペーン、ピオトープづくり、学園に花いっぱい運動
 - ・広野野外施設における循環型コミュニティの創造
 - 堆肥づくり、野菜・米づくり、エコ・クッキング
 - ・グローバルな循環型コミュニティの創造
 - コンピューターによるタイ・中国・カナダなどのネットワーク化
- (2) 2002 年度スチューデント・アクション「甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ」実施概要
 - ・甲南大学キャンパスにおけるパートナーシップの促進
 - ・甲南大学外とのパートナーシップの構築

2. 実施内容と成果報告

- (1) プラン：「大学生・学生部・管財部・大学生協・情報教育センター・対馬造園とのパートナーシップ」の継続・発展
 - 大学生、学生部、管財部、大学生協、情報教育センター、対馬造園などとのパートナーシップ
 - ゴミ分別キャンペーンの発展・促進のための広報活動（生協「情報パック」記事の連載）
 - 甲南大学「花いっぱい運動」の継続・発展
 - タバコ・キャンペーン活動
 - ホームページによる広報活動・報告書
 - 環境啓発シンポジウム「循環型コミュニティの創造とパートナーシップ 甲南大学におけるゴミの4分別化をめぐる」の開催
- (2) プラン：「甲南大学環境教育野外施設近隣における地域の人々とのパートナーシップ」を組んだ活動
 - 甲南大学環境教育野外施設広野近隣における地域の人々
 - 甲南幼稚園・甲南小学校・甲南中高・甲南女子中高・甲南大学生
 - パートナーシップによるパーマカルチュアへの努力
 - 甲南幼小学校・甲南中高・甲南女子中高とのパートナーシップによる環境教育活動
 - 環境教育ボランティア・リーダーの養成
 - 環境ボランティア活動
- (3) プラン：「地域住民とのパートナーシップ」による神戸市建設局東部建設事務所「水環境センター」での活動
 - 神戸市建設局東部建設事務所「水環境センター」
 - 神戸市建設局東部建設事務所「水環境センター」近隣の地域住民
 - 「水環境センター」でのピオトープ計画への企画・協力
 - 「水と音のピオトープ」勉強会・見学会・研修会
 - 水環境フェアへの参加（市民参加のボートレース・パネル展示）

- (4) プラン：「タイ・中国・カナダ・イギリス等とのグローバルなパートナーシップ」を組んだ活動
中国・北京大学との「第2回日中環境教育情報交流シンポジウム 日中のパートナーシップによる環境教育」(主催：日本環境教育学会関西支部、「地球環境と世界市民」国際協会)への参加及び開催協力
公開シンポジウム：総合的学習における「環境教育」の展開 パートナーシップ、循環型社会、他者・国際理解をめぐって (日本環境教育学会主催 第1回環境教育セミナー)への参加及び開催協力

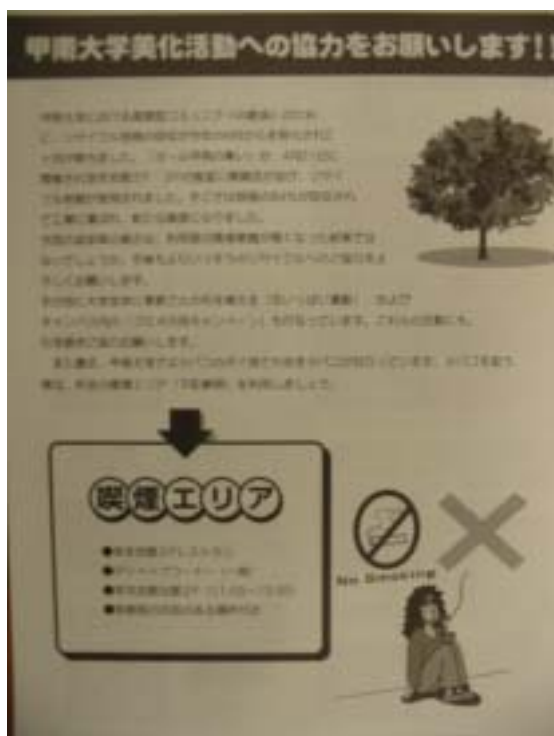
3. 今後の展望

(1) 課題

- ・ 4分別・リサイクル容器の回収率向上の推進(生協「情報パック」)
- ・ 省エネの提示(生協「情報パック」)
- ・ 学内の緑化推進(花、木など)

(2) 2003年度に向けて

- ・ 地域住民とのパートナーシップによる「水環境センター」のビオトープ活動
- ・ 甲南大学内や、甲南大学環境教育野外施設(広野)での活動の継続・促進
- ・ 第2回環境啓発シンポジウムの開催



情報パック記事



田植え(研究開発校)

4. 2002年度ゼミナール活動

ゼミナール活動	
4月	26日 甲南女子中高、甲南中高とオリエンテーション 27日 甲南女子中、甲南中高校と作業（広野：石拾い・畝立て・苗植え）
5月	10日 ゼミ合宿（広野：畑の管理） 11日 ゼミ合宿（広野：芋の苗植え） 環境教育の実践と作業（広野：芋の苗植え） 25日 甲南女子中と作業（広野：畝立て・芋の苗植え） 31日 ゼミ合宿（広野：田植え準備）
6月	1日 ゼミ合宿（広野：田植え） 甲南小、甲南女子中、甲南中高校と作業（広野：田植え） 環境教育の実践と作業（広野：田植え） 22日 甲南女子中と作業（広野：畑の管理）
7月	6日 環境教育の実践と作業（広野：畑の管理）
8月	21日 「地球環境と世界市民」国際協会第5回大会への参加・協力（広野） ゼミ合宿（広野） 22日 「地球環境と世界市民」国際協会第5回大会への参加・協力（広野） ゼミ合宿（広野）
9月	13日 甲南3学園合同の住吉川環境学習の事前指導 14日 甲南女子中、甲南中高校と作業（広野：夏野菜の収穫） 15日 水環境フェアへの参加 30日 甲南3学園合同の住吉川環境学習
10月	12日 甲南女子中、甲南中高校と作業（広野：稲刈り） ゼミ合宿（広野：稲刈り） 13日 ゼミ合宿（広野：稲刈り） 26日 甲南女子中、甲南中高校と作業（広野：脱穀） ゼミ合宿（広野：脱穀） 27日 ゼミ合宿（広野：脱穀）
11月	8日 甲南3学園合同発表会（住吉川環境学習・広野作業の発表） 11日 甲南幼稚園・小学校と「ものづくり会」事前指導 13日 淡路島モンキーセンター訪問 16日 甲南幼稚園・小学校と「ものづくり会」 オープンカレッジと作業（広野：収穫） 21日 学際展示（ゼミ活動の発表） 22日 学際展示（ゼミ活動の発表） 23日 学際展示（ゼミ活動の発表） 30日 第2回日中環境教育情報交流シンポジウム「日中のパートナーシップによる環境教育」（日本環境教育学会関西支部・「地球環境と世界市民」国際協会 主催）への参加・協力
12月	1日 公開シンポジウム：「総合的学習における『環境教育』の展開-パートナーシップ、循環型社会、他者・国際理解をめぐる-」（日本環境教育学会 主催）への参加・協力 20日 ゼミ合宿（広野：収穫祭準備） 21日 ゼミ合宿（広野：収穫祭） 甲南小、甲南女子中、甲南中高校と作業（広野：収穫祭） 22日 ゼミ合宿（広野：収穫祭）
1月	11日 「水と音のピオトープ」勉強会（あまがさき「ホタルの里」、神戸市西区伊吹台谷口公園）
2月	22日 「水と音のピオトープ」勉強会（神戸市森林植物園、神戸市「水の科学博物館」）

環境啓発シンポジウム

循環型コミュニティの創造とパートナーシップ

甲南大学におけるゴミの4分別化をめぐる

コーディネーター

谷口 文章（甲南大学文学部 教授）

アドバイザー

植村 亮介（学生部課長）

松澤 喜一（管財部課長）

佐野 汎司（管財部）

話題提供者

戸田 健【(株)対馬造園店】（造園業者）

南方 幹生【関西明装(株)清掃部】（清掃業者）

広野 剛史【(株)神戸エイコーサービス】（清掃業者）

松原 勤【関西明装(株)警備部】（守衛室）

隅田 幸博（甲南大学生生活協同組合専務理事）

長谷川 真一郎（甲南大学生生活協同組合理事会室）

学生のクリーン作戦について

植村 亮介（甲南大学学生部課長）

はじめに

1995年1月17日 午前5時46分 あの忌まわしい「阪神大震災」により甲南大学の建物の多くは倒壊し、それまでの卒業生や学生の思い出多き校舎は、一瞬のうちに瓦礫の山となった。

現在、1万人弱の学生が通学し、勉学を励んでいる校舎は甲南を愛する者たちの熱意で一変され、校舎・講義室は真新しく、清潔で、住環境スペースにゆとりができた。

震災前の校舎を知っている学生はほとんどいないと思うが、それまでを知っている私にとっては、現在の状況はことのほか感動を覚えている。

大学の規律

甲南大学学則の第1条には、教育基本法及び学校教育法に基づき、学術を中心として、専門的な知識と技能を授け、その応用と研究の能力を養うことを目的とし、高い教養と優れた健康とを併せそなえ、社会の発展と福祉の増進に寄与する独創的で実践力に富む人材の育成を使命とする。とあり、学生・教員・職員の三者が構成員として共存・共生を図りながら、各学部にも所属した学生は、その学部で開講されている講義を修得し、課外活動も謳歌して、4年間の学生生活を終え社会に巣立っていく。

学生のクリーン作戦について

学生の手によるクリーン作戦への取り組みに関し学生部の立場から、中学や高等学校の生徒と大学生との違い（義務教育・義務課程と高等教育の違い）について考えてみたとき、学級担任制度に基づいて運営された中・高では、教室が固定され、教室内の清掃は放課後、掃除当番が決められ、毎日、生徒自身の手によって教室や廊下、学校の周囲を清掃し、キャンパス美化を生徒自信が守っている。

一方、大学では、講義室や廊下の清掃をすることに対して、学生の労力提供を求める組織作りは今のところ難しく、清掃業者をお願いして校内外の美化に勤めている。学生は、自身が持ち込んだごみ等は、備え付けられた「護美箱」にて概ね処理をしている。

平成11年11月の神戸市東灘区役所まちづくり推進課と岡本地区商店街・自治会との連絡協議会に参加した戸山前甲南学園理事長から、地域の方々と連携しての「クリーン作戦」ができないかとのお話を学生部に頂いた。

これを受けて、平成12年2月「通学路の美化に関して」(案)を西川学生自治会中央委員会委員長へ次の提案をした。

【提案】

岡本・本山地区住民から、学生部へ、タバコの吸い殻を捨てる、いわゆるタバコのポイ捨てをする学生がいる。また、ごみや空き缶・ペットボトルを不法投棄する者もいる。道路一杯に広がって学生が登下校するので、通勤や歩行に支障が出る、との苦情・苦言が岡本・本山地域住民から電話で寄せられている。とても恥ずかしいことである。この苦情・苦言を真摯に受け止め、学生の一市民としてのマナーの高揚を図ることはもちろん、甲南大学として岡本・本山地区のまち美化に協力する方法を検討したい。

【検討事項】

1. 全学生に対し、タバコのポイ捨てや、ごみの不法投機、道路一杯に広がって登下校しないよう掲示、チラシ等で全学生に周知する。

2. 岡本・本山地区を月に1度か2度清掃運動をする。
3. 岡本・本山地区の住民のクリーン作戦時に、参加をする。

【組織】

1. 学生部・自治会を中心として、体育会・文化会・学生会館管理運営委員会の学生が参加して行なう。
2. 一般学生の参加を求める。
3. 教職員の参加を求める

【その他】

1. 清掃に必要な道具は、学生部が調達し、集めたごみは、神戸市清掃局が回収する。
(登下校の現状)

平成12年1月現在、JR摂津本山駅を利用して登下校する学生が2099名(20.5%)、阪急岡本駅を利用して登下校する学生が6559名(64.2%)、その他徒歩、自転車、バイク、市バスを利用して登下校する学生が1548名(15.3%)である。

【検討結果】

平成12年3月13日(月)地域の方々との通学路清掃(クリーン作戦)を実施した。参加者は、自治会中央委員会委員を中心として、文化会・体育会・学生会館管理運営委員会所属の学生・谷口ゼミ学生の約150名程度が参加。爾来、9月の第2週月曜日、11月の大学祭最終日、3月の第2週月曜日に実施、今回で3年を経過しようとしている。

なお、実施前には、数次にわたって地域の代表者、自治会学生、学生部職員と町づくり推進が担当で「クリーン作戦の目標」「役割分担」などの打ち合わせを重ねている。

以上

今後の甲南大学の住環境の将来

学生各位が、本当に甲南を愛し、後輩へより良い環境を残してあげる気持ちが必要です。

甲南大学キャンパスルール

1. 講義室内の飲食について

授業中の飲食は禁止します。机にお菓子・ジュース等を置いて授業を受けないこと。
昼食時、休憩時の飲食に伴うゴミ、ジュースの空き缶等は必ず自分で処理すること

2. 地震がきたら

動くな 講義室からとびださないこと
出入り口を開ける 鉄扉が開かなくなることがあるので出入り口付近の人は鉄扉を開けること
ガラスに気をつける 窓ガラスが壊れることがあるので窓側の人は注意すること
天井に気をつける 蛍光灯が落ちることがあるので注意すること

3. 医務室は3号館1階に設置しております。急病などの方は申出て下さい。

ゴミ箱の数とゴミの量、処理コストの変化

松澤 喜一（甲南大学管財部課長）

佐野 汎司（甲南大学管財部）

ゴミ一覧(2001年度)

一般ごみ		合計
定期廃棄物処理費		3,654,000
(生塵)週3回4t車1台 火・木・土の各曜日		
セミナーハウス		449,820
(生塵)週2回4t車1台 の各曜日		
粗ごみ(4t車)	台数	38
	処理料	1,795,500
粗ごみ(3t車)	台数	4
	処理料	144,374
粗ごみ(2t車)	台数	9
	処理料	236,250
粗ごみ(2t) (広野)	台数	2
	処理料	52,500
粗ごみ(六甲)	トン数	4
	台数	2
	処理料	99,750
家電リサイクル		
冷蔵庫	処理料	51,415
	台数	7
テレビ	処理料	10,535
	台数	2
合計	台数	55
	処理料	6,494,144
リサイクル		合計
スチールカン	kg	11,400
	処理料	252,000
スチールカン(950超)	kg	4,490
	処理料	23,573
ダンボール	kg	12,220
	処理料	64,155
雑誌	kg	54,120
	処理料	284,130
新聞	kg	6,240
	処理料	32,760
	kg	88,470

合計	処理料	656,618
不要書類回収	kg	7,670
		225,120

総計(処理料) (単位:円) 7,375,882

ごみ一覧(2000年度)

一般ごみ		合計
定期廃棄物処理費		3,654,000
(生塵)週3回4t車1台 火・木・土の各曜日		
粗ごみ(4t車)	台数	34
	処理料	1,606,500
粗ごみ(3t車)	台数	3
	処理料	106,311
粗ごみ(2t車)	台数	9
	処理料	236,250
合計	台数	46
	処理料	5,603,061
リサイクル		
スチールカン	kg	10,450
	処理料	231,000
スチールカン(950超)	kg	6,390
	処理料	33,548
ダンボール	kg	10,460
	処理料	54,915
雑誌	kg	26,490
	処理料	139,073
新聞	kg	5,480
	処理料	28,770
合計	kg	59,270
	処理料	487,305
不要書類回収		214,620
	kg	8,840

総計(処理料) (単位:円) 6,304,986

(参考)

ごみ一覧(2002年度) (2002年4月～2003年1月)

2002年度	処理料	5,838,625
--------	-----	-----------

(単位:円)

環境啓発ポスター：循環型コミュニティの創造とパートナーシップ

ゴミ箱 設置場所(2003年3月現在)

管財部

大(90ℓ)、中(45ℓ)、小(10ℓ以下)

号館・階数	一般ゴミ								缶・ビン							
	教室内		校舎外のゴミ箱	教室内		教室内		教室内		教室内		教室内		教室内		
	大	通路・便所		中	通路・便所	小	通路・便所	大	通路・便所	大	中	通路・便所	中	小	通路・便所	
1号館	1 F		2		15		4				1					
	2 F	4	1		4		4									
	3 F	6	2		7		4									
	4 F	6	1	1	8		4									
小計	16	4	3	0	34	0	16	0	0	1	0	0	0	0		
2号館	地下				2		1									
	1 F	6	2	2	7		10			2						
	2 F	8	1		5		3									
	3 F	3			3											
	4 F	4			3		3									
	5 F	4			3											
	6 F	6			3		3									
小計	31	4	2	0	32	0	21	0	0	2	0	0	0	0		
3号館	1 F	2	4		12		5			2	3					
	2 F	1	6	3	5		5						1			
	3 F	15			7		5									
	4 F	15			7		5									
	5 F	15			6		5									
	6 F	10		2	5		7									
	7 F				5		5									
小計	56	8	7	3	47	0	37	0	2	3	0	0	1	0		
4号館	1 F			2	1	1	3			2						
	2 F	1	1		1	1	4				1					
小計	1	1	2	1	2	1	7	0	0	2	1	0	0	0		
5号館	1 F		3	2	2					2	2		2			
	2 F		2	2	1	1				2	2		1			
	3 F		2		6		9									
	4 F		1				9			1						
	5 F	1	1			2	9					2				
地下					2		2									
小計	1	9	4	7	7	27	2	0	5	4	2	3	0	0		
6号館	1 F			1	4	1				1			1			
	2 F				5											
	3 F				7											
	4 F				7											
	5 F				9											
	6 F						12									
	7 F				5											
小計	0	0	1	37	1	12	0	0	1	0	0	1	0	0		
7号館	地下	2	2	2	3	2				2	1					
	1 F	3		1	3	4	5									
	2 F				5	4	3						1			
	3 F	3	2		5	3	3						1			
	4 F	2	1		2	1	3						1			
5 F		1		2	2	2						1				
小計	10	6	3	20	16	0	16	0	2	1	0	4	0	0		
8号館	地下		2				4									
	1 F		8			4	3			3						
	2 F		3			3	7			2						
小計	0	13	0	0	7	0	14	0	5	0	0	0	0	0		
9号館	1 F			1			3			1			1			
	2 F		1				2						1			
	3 F		1				2						1			
	4 F		1				2						1			
	5 F		1				2						1			
	6 F		1				2						1			
	7 F		1				2						1			
小計	0	6	1	0	0	0	15	0	0	1	0	7	0	0		
10号館 北館	1 F	8	5	1	10	6	3			1	1		3			
	2 F				4	3	2						1			
	3 F				5	4	2						1			
	4 F				4	3	2						1			
	5 F				4	3	2						1			
	6 F				4	3	2						1			
	7 F				4	3	2						1			
	8 F		2		5	2	2						1			
	9 F				4	3	2						1			
	地下				3	1	1						1			
南館	1 F		2		2		3						1			
	2 F		1		7	4	3						2			
小計	8	10	1	54	37	0	26	0	1	1	0	15	0	0		

号館・階数	一般コミ								缶・ビン													
	教室内		通路・便所		校舎外のゴミ箱		教室内		通路・便所		教室内		通路・便所		校舎外のゴミ箱		教室内		通路・便所			
	大	大	大	中	中	小	小	大	大	大	中	中	小	小	大	大	大	中	中	小	小	
11号館	1 F																					
	2 F		1				3												2		1	
	3 F		1				3												2			
	4 F						5												5			
小計	0	2	0	0	11	0	18	0	0	0	0	9	1	0								
12号館	1 F			2	6	5	6			2												
	2 F				6	4	6															
	3 F				7	4	6												1			
小計	0	0	2	19	13	0	18	0	0	2	0	1	0	0								
13号館	1 F			1																		
	2 F																					
	3 F																					
	4 F																					
小計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0								
14号館	1 F	1		2	2			14														
	2 F																					
小計	1	0	2	2	0	0	14	0	0	2	0	1	0	0								
15号館	地下																					
	1 F			3	2	1	3															
	2 F				2		3															
	3 F	1	1		2		2			1												
4 F																						
小計	1	1	3	6	1	0	8	0	1	0	0	4	0	0								
16号館	1 F																					
	2 F							1														
	3 F																					
小計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0								
17号館	1 F																					
	2 F																					
	3 F																					
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
18号館	1 F		2	1		4	6															
	2 F		2			4	4															
	3 F		2			4	4															
	4 F						4															
小計	0	6	1	0	12	0	14	0	0	0	0	0	0	0								
図書館	地下				4	1	11															
	1 F		1	4	7	1	9			4												
	2 F				8	3	9															
小計	0	1	4	19	5	9	28	0	0	4	0	1	0	0								
学生会館	1 F		2	2		1	5															
	2 F	3	10	2		1	5			10												
	3 F					1	5															
	4 F					1	4															
小計	3	12	4	0	4	0	19	0	10	4	0	0	0	0								
講堂兼体育館	1 F		1	2		3	8			2												
小計	0	1	2	0	3	0	8	0	0	2	0	0	0	0								
文化会館	1 F			5			5			4												
小計	0	0	5	0	0	0	5	0	0	4	0	0	0	0								
学友号館	1 F		7	10			5			5												
	2 F		6				5			4												
	3 F		6				5			4												
	4 F						5			4												
小計	0	19	10	0	0	0	15	0	10	5	0	0	0	0								
甲友会館	1 F	5			1	4				5		1	2									
	2 F				5	2	4					2										
小計	5	0	0	6	6	4	0	0	5	0	1	4	0	0								
総計	133	103	58	174	238	53	300	0	42	39	4	50	2	0								

環境啓発ポスター：循環型コミュニティの創造とパートナーシップ

ゴミ箱 設置場所(2003年3月現在)

管財部

号館・階数	教 室 内			通 路・便 所			校舎外の大型分別ゴミ箱	
	大(90ℓ)	中(45ℓ)	小(20ℓ以下)	大(90ℓ)	中(45ℓ)	小(20ℓ以下)	赤リ(90ℓ)	青(90ℓ)
1号館	1 F					3		
	2 F		4		4	4	2	2
	3 F		6		1	7		
	4 F		6		2	8		
小 計	0	16	0	0	7	22	2	2
2号館	地下							
	1 F		6		2	4	3	1
	2 F		8			5		
	3 F		3			3		
	4 F		4			3		
	5 F		4			3		
	6 F		4			3		
小 計	0	29	0	0	1	21	3	1
3号館	1 F					13	4	3
	2 F		6	1	1	2		
	3 F	15	7					
	4 F	15	7					
	5 F	15	8					
	6 F	7	8					
	7 F		5					
小 計	52	41	1	0	1	15	4	3
4号館	1 F							
	2 F							
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0
6号館	1 F		4		1		1	1
	2 F		5					
	3 F		7					
	4 F		7					
	5 F		8					
	6 F			12				
	7 F		5					
小 計	0	37	12	0	1	0	1	1
7号館	地下	2	3					
	1 F	3	3					
	2 F		5					
	3 F	3	5					
	4 F	2	2					
小 計	10	20	0	0	0	0	0	0
8号館	地下	2						
	1 F	14	3					
	2 F	9	1					
小 計	25	4	0	0	0	0	0	0
9号館	1 F					3	1	1
	2 F				1	3		
	3 F				1	3		
	4 F				1	3		
	5 F				1	3		
	6 F				1	3		
	7 F				1	3		
小 計	0	0	0	6	0	21	1	1
10号館 北館	1 F	8	10				1	1
	2 F		4					
	3 F		5					
	4 F		4					
	5 F		4					
	6 F		4					
	7 F		4					
	8 F		5					
	9 F		4					
	南館	地下	3					
小 計	8	54	0	0	0	0	1	1
11号館	1 F							
	2 F					7		
	3 F					6		
	4 F					11		
小 計	0	0	0	0	0	24	0	0
12号館	1 F		6				2	4
	2 F		6					
	3 F		7					
	4 F							
小 計	0	19	0	0	0	0	2	4
13号館	1 F							
	2 F							
	3 F							
	4 F							
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0
14号館	1 F	1	2				1	1
	2 F							
小 計	1	2	0	0	0	0	1	1

環境啓発プログラム：循環型コミュニティの創造とパートナーシップ

15号館	1 F		2					1	1
	2 F		2						
	3 F	1	2						
	4 F								
小計		1	6	0	0	0	0	1	1
16号館	1 F								
	2 F								
	3 F								
	4 F								
小計		0	0	0	0	0	0	0	0
17号館	1 F								
	2 F								
	3 F								
	4 F								
小計		0	0	0	0	0	0	0	0
18号館	1 F								
	2 F								
	3 F								
	4 F								
小計		0	0	0	0	0	0	0	0
図書館	1 F	0	0	0	0	0	7	4	4
学生会館	1 F	0	0	0	0	0	7	4	4
	2 F					1		2	2
	3 F					20			
	4 F						2		
小計		0	0	0	0	1	2		
講堂兼体育館	1 F					22	4	2	2
小計		0	0	0	0	0	3	2	2
文化会館								5	4
小計		0	0	0	0	0	0	5	4
学友会館	1 F								
	2 F								
	3 F								
	4 F								
小計		0	0	0	0	0	0	0	0
総計		97	228	13	6	34	117	29	27

ゴミ箱 設置場所案

管財部

設置場所		種類	設置数	内容
校舎内	教室内 出入口	可燃ゴミ	2	教室内のゴミ箱には、「資源ゴミ(カン、ペットボトル)は、廊下のゴミ箱に廃棄すること」の表示をしておく。
	廊下 各階1ヶ所	カン	1	
		ペットボトル	1	
校舎外	守衛室前		各所に	分別内容:
	1・3号館前		4個	「燃えるゴミ(一般ゴミ)」: 弁当箱、弁当の残り、紙類
	8号館前			「カン(資源ゴミ)」
	2号館前か、図書館前			「ペットボトル(資源ゴミ)」
	5号館前			「燃えないゴミ」: 粗ゴミに類するゴミ
研究室棟	生協エリア各所			
	廊下 各階に1ヶ所	可燃ゴミ	1	
		カン	1	
		ペットボトル	1	
事務室		紙類	1	紙類の分別をおこないたいが、実情をみてから検討する。
				事務室は、部局ごとに、「ゴミ集積所」に可燃ゴミは持っていく。
				また、紙類は「①コピー用紙、②新聞紙、③その他(雑誌、チラシ等)」に分別ボックスを設置し、回収している。
				カン、ペットボトルは指定のゴミ箱に各自が廃棄している。

1998 年度岡本校舎区域 灰皿一覧

	場所	場所別個数	号館別合計
1・3号館	1号館南出入口	1	
	1号館西側通路(軒下)	5	
	1・3号館学生ホール前南	2	
	1・4号館学生ホール前北	2	
	学生交流広場(屋上庭園)(2f)	9	
	1号館 4f 塔屋周辺	6	25
図書館東広場		1	1
2号館	南出入口	2	
	北出入口	2	4
8号館	南出入口	2	
	2階ホール	4	
	6号館と8号館の間	1	7
9号館	1f 出入口	2	
	各階エレベータ前	7	9
10号館	北館各階エレベータ前	9	
	玄関ホール・ラウンジ	16	25
大学生協	東出入口	1	1
	合計		72

財務部管財課

2000 年度 校舎区域 灰皿一覧

	場所	場所別個数	号館別合計
1・3号館	1号館南出入口	3	
	1号館北側出入口	3	
	学生交流広場(屋上庭園)(2f)	10	
	1号館 4f 塔屋周辺	6	22
2号館	南出入口	3	
	北出入口	2	5
1号館と2号館の間の広場(通路)		4	4
4号館			

6号館	北出入口	1	1
7号館	出入口	2	
	1階ホール	4	6
8号館	南出入口	6	6
9号館	1f 出入口	2	2
10号館	西出入口	2	
	東出入口	2	4
11号館	出入口	0	0
12号館	西出入口	2	
	東出入口	2	4
13号館	出入口	2	2
14号館	出入口	3	3
15号館	西出入口	2	
	東出入口	2	4
16号館	出入口		0
17号館	出入口		0
18号館	出入口(学生相談室)	1	1
図書館	東広場	2	
	出入口	2	4
大学生協	東出入口	2	
	南側	9	11
講堂兼体育館	出入口(東側)	1	1
公用車前		1	1
	合計	81	81

財務部管財課

2003年3月 校舎区域 灰皿一覧

	場所	場所別個数	号館別合計
1・3号館	1号館南出入口	1	
	1号館北側出入口	3	
	3号館南出入口	3	
	1号館 4f 塔屋周辺	6	13

2号館	南出入口	2	
	北出入口	0	
	通路	3	5
1号館と2号館の間の広場(通路)		4	4
4号館		1	1
6号館	北出入口	4	4
7号館	出入口	2	
	1階ホール	4	6
8号館	南出入口	4	4
9号館	1f 出入口	2	2
10号館	西出入口	2	
	東出入口	2	4
11号館	出入口	0	0
12号館	西出入口	2	
	東出入口	2	4
13号館	出入口	1	1
14号館	出入口	3	3
15号館	西出入口	1	
	東出入口	2	3
16号館	出入口	1	1
17号館	出入口	0	0
18号館	出入口(学生相談室)	1	1
図書館	東広場	2	
	出入口	0	2
大学生協	東出入口	2	
	南側	8	10
講堂兼体育館	出入口(東側)	1	1
公用車前		1	1
	合計	70	70

財務部管財課

キャンパスの緑化について

戸田 健【株対馬造園店】(造園業者)

大学に入ってまず驚くのは、建物が樹をよけて建てられている場所があるということです。2号館の中程に木の為に削り取られた場所を見ると大学の緑に対する考え方を表している様な気がします。

そんな大学ですから、キャンパスの緑化も樹木の事を考えた計画にしています。

建物と建物の間が狭い空間は、日陰に強い樹木や草花を、乾燥しやすい所には乾燥に強い植物をあしらっています。普段何気なく見ている緑は「生きている」ということ、又、緑を「気にする」ということ、特にそのことを考える場所を造ったのが、新5号館の植栽計画でした。



5号館のまわりは、他の庭園と違って看板が多いことに気づきます。それぞれのポイントでは名前が付いて、楽しみながら庭園を回遊出来るように散策路を設けました。休日には散歩をしている人を見かけます。この散策路は学生、職員だけでなく、近隣へ開かれた大学としての機能も備えています。

散策路周辺の植栽ですが、背景に六甲山系を持つ景色を生かして、六甲山から緑が降りてくる(つながっている)イメージで、南斜面の植生を取り入れた計画にしています。そうすることで、まわりの環境に溶け込んだ生育条件的に無理のない緑が広がります。

又、「生命の生息域」と定義づけられているビオトープを、キャンパス内の自然環境を豊かにする為に造りました。このビオトープは、環境教育の中で学生さん達が作っています。又、ビオトープの近くには、講義の一環として、学生さん達が実際に花を植える花壇も設けています。



キャンパスの中で、自分たちが手がけた場所やものがあるということは、今まで気にしてなかった場所が、気になってしょうがない場所へと変わっていくことだと思っています。



私達も植栽した樹木や草花は、とても気になります。人が踏んで折れた枝や葉を見ると哀しくなります。踏まないでいることは出来なかったのか等 管理側から見ると、思いは複雑です。そして、時期が来ると「無事に花を付けたかな」とか「水が足りなくてしんどそうだな」と見て回ります。

朝と夕方では植物達の状態が違うんですよ。大学のキャンパス内での小さな事でさえ、1日の内に変化するのにこれが地域レベル、地球レベルになると無視できない問題に発展していくと思います。我々は「気にする」事が環境へ関心を持つ第一歩だと考えています。

甲南大学のキャンパスの緑化を通じて、一人でも多くの人たちが、何か身近な事に目を向け、実行に移してくれたらと思います。

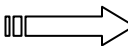


これからも よりいっそう多くの人達に 緑化というものを身近に感じてもらえるよう 日々努力し 提案していきたいと 考えております。

分別開始後のゴミの量とその状況について

南方 幹生【関西明装株清掃部】(清掃業者)

1、ゴミの分別に関して

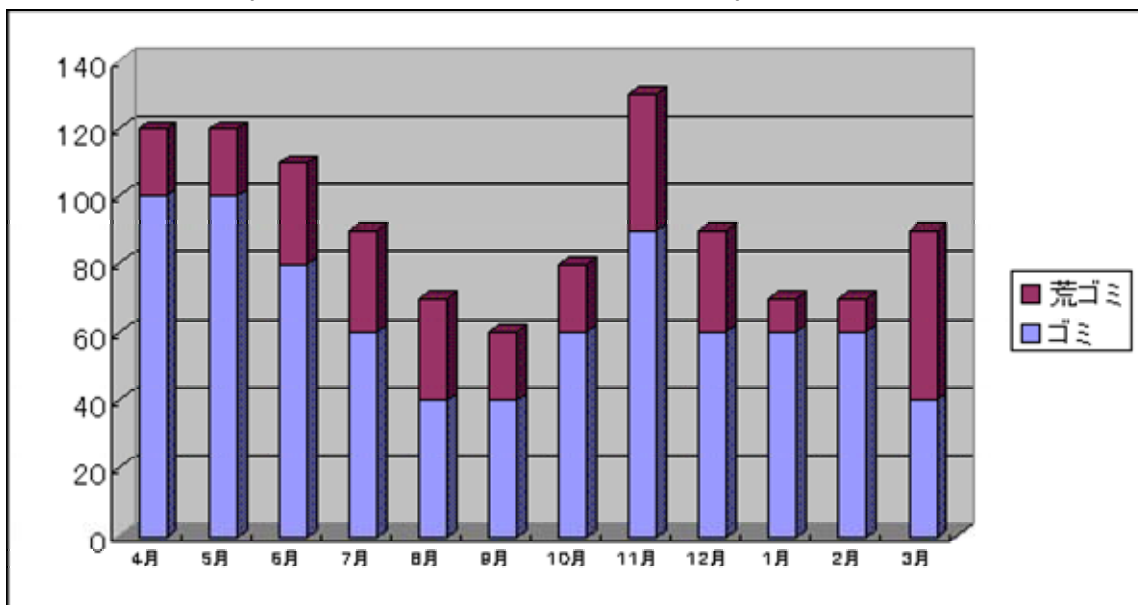
学生に関して	
現 状	4分轄ゴミ箱の活用 分別ゴミ箱の状況 8 : 2 で捨てられている (4~5月は6 : 4の割合)
問題点	燃えないゴミに対する認識が不足している プラスチックに対する認識が不足 ペットボトルのキャップ・ラベル
4月からの課題	プラスチックを不燃ゴミとして分別する
内部(事務所他)	
現 状	分別状況 ほぼ守っていただいております
問題点	資源ゴミ(OA用紙・その他再生可能用紙)が捨てられている
4月からの課題	資源ゴミ(OA用紙他)の分別 プラスチックを不燃ゴミとして分別する(文具用品) (ポ-ルペン・FD・CD他)
ゴミ集積所	
現 状	分別状況 分別項目 資源ゴミ・燃えるゴミ・ダンボ-ル・燃えないゴミ・ガラス・生ゴミ・缶・ ペットボトル・粗大ゴミ
問題点	燃えないゴミの分別が出来ていない } 粗大ゴミの分別が出来ていない }  置き場を分けていない ペットボトルのキャップの分別が出来ていない
4月からの課題	燃えないゴミを分別し 分別ごとの専用ゴミ箱の設置 粗大ゴミに関しては管財部と検討 ペットボトルのキャップに関しては回収時に検討

2、ゴミの種類の変化

空き缶の減少
 OA用紙の増
 ペットボトルの増加
 焼却ゴミとして処理
 資源ゴミ
 (経理・個人名等記載のため)

3、ゴミの量の変化

・月別量変化(4月ゴミ100・荒ゴミ他を20とした場合)



4、ゴミの区分の変更

平成15年1月1日よりゴミの区分がさらに細くなりました。
別紙資料添付「事業系ゴミの排出区分」

問題点として 集積所の区分を細かくしなければならない

大量に発生した場合(学園祭他)集積場所の確保が難しい

ペットボトルの問題点

- 1) キャップは不燃物
 - 2) ラベルは不燃物
 - 3) ボトルは資源ゴミ
- 分別に時間がかかる

プラスチックは不燃物となりますので分別

不燃物でも15cm以上は粗大ゴミ扱い
可燃物でも50cm以上は粗大ゴミ扱い

振り分けが難しい



甲南大学におけるゴミの4分別化をめぐる

広野 剛史【株神戸エイコーサービス】(清掃業者)

環境啓発プロジェクト 資料

【目次】

1. はじめに
2. ゴミの分別化について
3. ゴミの分別化の現状について
4. 西校舎・7号館のゴミの状況について
5. スチューデント・アクション・プロジェクトの拡大に向けて
6. 最後に

1. はじめに

甲南大学におけるゴミの分別化は、清掃業者のスタッフにゴミに対する意識改革をもたらしてくれたものである。今や、“リサイクル”という言葉は各世代にまで浸透した流行語とも言えよう。

廃棄物の資源化には、廃棄物を焼却することによって発生する“熱エネルギーを回収する方法”と、金属・ガラス・紙など“物を回収する方法”とに分けることが出来る。しかし一般的には後者の方法を指して“廃棄物の資源化”(リサイクル)といている。つまり、廃棄物の中から再生資源として活用できる有価物を回収して、再び資源として利用しようということが廃棄物の資源化である。

例をあげれば、紙類を回収して再生紙に、鉄やアルミニウムなどの金属類は再生原材料として再使用し、ビン類も再生原料もしくは再利用し、木質類など可燃物は燃料もしくは焼却して電力を得るといったように、廃棄物は徹底した分別収集を行えば大抵のものは資源として活用でき、一方地球規模で考えれば資源の有効利用に通じることにもなる。また資源の回収率を高めればそれだけ廃棄物の減量も可能となり、その分だけ廃棄物の処理経費も軽減されることになる。

ゴミの分別化、若しくはリサイクルに関して日本はEU(欧州連合)諸国のそれと比べると、随分と遅れを取っている。リサイクルの優等生と言われるドイツでは、何か製品を作る場合、まずゴミの問題、リサイクルが出来るかどうかを考えてから製品が製造されるそうです。今まで、人間は後から出されるゴミの事を考えず物質を製造し消費し続けてきた。そのツケが今重くのしかかっている。

私達は学内の清掃をする上でゴミとは切っても切れない関係にある。2001年度に開始されたゴミの4分別化の現在の状況を知ること、今後のゴミの問題、リサイクル(廃棄物の資源化)、甲南大学の環境についてどうあるべきかを考えていかなければならない。

2. ゴミの分別化について

・学内各所に燃えるゴミ、「燃えないゴミ」、「ペットボトル」、「空き缶」を入れる4つのゴミ箱を設置。
(写真1参照)

・各号館の講義室にあるゴミ箱を撤去し、廊下に「燃えるゴミ」、「ペットボトル」、「空き缶」を入れるゴミ箱を設置。(写真2参照)



写真1



写真2

3. ゴミの分別化の現状について（本校舎）

【 現状 】

燃えるゴミ専用のゴミ箱の中にペットボトルが入っていたり、空き缶が入っていたりということがありますが、ゴミを回収する時点で清掃のスタッフが分別している。しかし、全体的に見て分別自体は守られているのではないかと思う。ただ、分別化が実施されて明らかになったことは、空き缶の量がペットボトルに比べるとその量は減少傾向にあるということである。これは、ペットボトルを持ち運べるという利点にあると考えられる。

ゴミ箱が講義室からなくなったことで、机の中に弁当を食べた後の弁当ガラやお菓子の包み紙などのゴミが放置されているのが増えたというのも事実である。

あと、分別とは関係ないが学内のタバコのポイ捨てが目立つ。

【 問題 】

ゴミ箱が講義室からなくなったことで、机の中に弁当を食べた後の弁当ガラやお菓子の包み紙などのゴミが放置されているのが増えたというのも事実である。

あと、分別とは関係ないが学内のタバコのポイ捨てが目立つ。

【 提案 】

- ・ ゴミ箱の表示を絵入りの表示にしてみてもどうか？
- ・ 講義室に“ ゴミはゴミ箱に ” というような掲示をしてみるのはいかがでしょうか？

4. 西校舎・7号館のゴミの状況について

本校舎に関してはゴミの分別化の状況は関西明装とたいした変化はないものと見られる。そこで、2001年度のチューデント・アクション・プロジェクトのゴミの4分別化の対象外である西校舎と7号館のゴミの状況について報告したい。

西校舎のゴミの状況

本校舎と変わりなく分別は出来ていると思う。あと、用務員の方がこまめに分別してくれているので問題はない。

7号館（理工学部棟）のゴミの状況

【 現状 】

- ・ 共用部分のゴミ箱は分別化が出来ている。
- ・ 各研究室（各自がゴミを出している）

普通ゴミ 7号館スロープのゴミコンテナ（写真3参照）

資源ゴミ（空き缶、ペットボトル）燃えないゴミ 7号館1階の物置（写真4参照）



写真3



写真4

普通ゴミは、(火)(木)(土)に回収に、燃えないゴミは1ヶ月1回収りに来る。資源ゴミは週に1度本校舎のゴミ庫の担当者が回収に来る。

【 問題 】

分別に関しては、守られているとは言いがたい。コンテナの区別、普通ゴミと燃えないゴミの区別も付いていない状態。



写真5



写真6



写真7



写真8

写真5～8は最近の様子。見てもらえばわかるように、工作機械や試験管、フラスコ、発泡スチロールが無造作に積まれている状態。

業者が回収に来た際に、持って帰れる物かの判断が付きにくい。しかも、薬品が付いていたりしたら大変危険である。

【 提案 】

・現在の燃えないゴミの物置自体の規模が小さいので、HRC（ハイテク・リサーチ・センター）の裏にある倉庫を有効利用する。（写真9参照）



写真9

・各研究室から出されるゴミに関しては、東京都のように各研究室の名前を書いて出すようにする。研究室の名前が書かれていないゴミに関しては回収しないといった規則を作成する。

5. スチューデント・アクション・プロジェクトの拡大に向けて

提案 1. ゴミ箱の撤去箇所を拡大する。

10号館2階、3階ゼミ室、5号館4階、5階ゼミ室のゴミ箱の撤去。（写真参照）
ゼミ室のゴミ箱を全て撤去し、エレベーターホールに大型のゴミ箱3つ（燃えるゴミペットボトル、空き缶）設置する。



写真10. 10号館ゼミ室ゴミ箱



写真11. 5号館ゼミ室ゴミ箱

現在のゼミ室のゴミ箱は1つしかなく、一般ゴミも資源ゴミも混在している状態。

提案 2．忘れ物の再利用化

忘れ物の再利用化について、現在試験的に学生が忘れていったビニール傘、安価な傘をためておいて、雨の日に傘を持ってきていない学生に配布している。

配布の仕方については、傘立てに傘を立てて、玄関に置いておき、自由に学生に持って行ってもらうようにしている。

忘れ物として、学生部に届けるよりもこの方法が良いのではないかなど考えている。

提案 3．ブローケン・ウィンドウ理論を応用した今後の理想像

ブローケン・ウィンドウ理論とは・・・

犯罪心理学者 J. Q. Wilson 博士が発表した「重犯罪の発生を抑えるには、軽犯罪の取締りを強化する。」というもの。

- 1．実験 治安の良い場所にボンネットを開けた自動車を1週間放置したが、何も起こらない。
- 2．実験 仕方がないので自動車の窓を割って放置してみたところ、1週間以内に自動車の部品が持ち去られ、落書きや破壊活動が行われた。
- 3．以上の実験により、管理・監視されていなさそうの物に対して、人々は悪さをしても良いと判断する。（または、悪いとは思っているが、抑制が効かない。）
- 4．自動車の窓を割って実験したので、ブローケン・ウィンドウ理論と命名された。

この理論を応用し、アメリカ合衆国ニューヨーク・札幌市は犯罪発生件数が減少し、絶大な効果を上げたとして有名でもある。

上記の2都市はこの理論を応用し、以下のようなことを徹底的に実施した。

- 1．軽犯罪、小さな犯罪を容赦せず検挙する。
（ゴミのポイ捨て、自転車や自動車の不法駐車など）
（修繕、清掃を常に行い、ゴミ、落書きなどは残さない。）
- 2．この地域、場所、店は管理・監視が常に行われており、悪さをすると損であるという暗黙のメッセージになる。
- 3．一般人は悪さを行う際、抑制側要因が強くなり、悪さをする件数が減少する。
- 4．確信犯罪者はその地域を観察し、ここで悪さをするよりはもっと監視の行き届かない場所で行うほうが得策であると判断し、移動する。
- 5．その地域の治安が向上する。

近年、甲南大学では学生や心無い人によりイタズラが増えている。そのイタズラはますます質の悪いものとなってきている。先に挙げた、理論の応用によって甲南大学の環境がよりよいものとなるのではないかと考えた。

- 応用 1．ゴミ・タバコのポイ捨て、自転車や自動車の不法駐車などの取締りの強化。
- 応用 2．修繕、清掃を常に行い、ゴミ、落書きなどは残さない。
- 応用 3．この場所は管理・監視が常に行われており、悪さをすると損であるという暗黙のメッセージになる。
- 応用 4．治安が向上する。

普段の清掃などを強化することによって、また警備の巡回の強化が治安向上を図ると考えられる。

6. 最後に

これからの甲南大学の環境について考えると、ゴミの分別化だけにとどまらず、全体の環境、更にはその周辺環境にまで目を向けていくべきではないだろうか？

話題がゴミの問題から離れてしまったが、前ニューヨーク市長のジュリアーノ氏は任期8年間に治安の向上(安全な街づくり)と犯罪の防止を徹底的に実施しました。その結果、ニューヨークの治安はここ8年間で随分と変わり、安全な街に変わりつつある。ブローケン・ウィンドウ理論は決して不可能なことは言っていない。清掃などをこまめに行うことが治安の向上になるのであれば言うまでもない。

甲南大学の将来の環境問題に積極的に取り組み、このようなすばらしい機会を与えてくださった文学部・谷口文章教授をはじめ、谷口ゼミの皆様には感謝を申し上げます。

大学施設の利用マナーの現状

松原 勤【関西明装株式会社警備部】(守衛室)

1、器物の破損に関して

2号館情報教育センター	ノートパソコン液晶画面破損
1号館133教室	机荷物台破損
	椅子ビニールカバー破損
各館廊下・教室内壁	各所に穴を開ける
体育クラブ部屋	壁にらくがき
2号館EV	操作盤破損
2号館ごみ箱	破損
窓ガラス・ガラス扉	破損
喫煙に関して	禁煙場所にかかわらず喫煙 (便所・階段・開き窓他)

2、電気・エアコン等の利用状況

使用届けが出ていても使用状況の把握が巡回時しか出来ない
使用届けが出ているが教室等に誰も居ず照明・エアコンが動いている場合がある
消し止めることができない

不特定多数が使用する共同図書館等
夜間巡回時誰も居ない状況なのに照明・エアコンが動いている 消し止める
(21時巡回)

休み期間に関して
使用届けが出ていない教室は扉を閉めて照明・エアコン停止
(廊下も含む)

研究室に関して
先生が在席しているか不明のため照明・エアコンを停止することが出来ない

使用届け未提出にもかかわらずゼミ・研究室が使用されている
照明・エアコンが停止出来ない

3、学生の気質に関して

自分に関係する事はすぐに行動するが、他人に関する事には無関心である。

摂津祭でのリサイクル活動ならびにその他の取り組み

隅田 幸博（甲南大学生生活協同組合専務理事）

長谷川 真一郎（甲南大学生生活協同組合理事会室）

【概要】

第38回摂津祭（2002年度）において、昨年に引き続き、大学祭での「ゴミの減量化」ならびに学生の「リサイクル意識」の向上を目的とし、模擬店での使用済み容器の回収に取り組みました。取り組み内容としては、各模擬店による来場者へのリサイクルの呼びかけならびに、本校キャンパス内8カ所に「リサイクルボックス」を設置し、使用済み容器の回収を行いました。「リサイクルボックス」の設置作業等の準備については、各学生団体のご協力のもと実施しています。

【参加団体】

模擬店実施委員会 自治会中央委員会 スチューデントアクション
学生会館管理運営委員会 体育会本部 生協学生委員会 （順不同）

【準備経過】

1. 摂津祭へ向けての準備経過

2002年9月末頃 模擬店実施委員会と取り組み方法について打ち合わせ開始。

2002年10月4日頃 模擬店説明会にてリサイクル容器について説明。

2002年10月20日頃 学生四団体懇談会等にて取り組みへの参加についての呼びかけ。

2. 参加団体と役割分担

模擬店実施委員会

摂津祭でのリサイクル活動の主体となって、使用済み容器の回収方法について企画ならびに各模擬店への徹底。

各模擬店

ポスター等によりリサイクルの呼びかけならびに回収された容器の状態について点検を行う。

その他の団体

リサイクルボックスの設置ならびに撤去。「チェック会場」での回収状態の点検。

3. リサイクル活動の経過

2002年11月20日から11月23日までの模擬店出店期間中「リサイクルボックス」を設置し回収を行いました。全期間についてリサイクル容器を使用する日とし、「丼容器」「舟皿容器」を使用する団体は、必ずリサイクル容器を使用することとしました。

各模擬店では、リサイクルの呼びかけポスターの掲示（リサイクル方法の説明を含む）ならびに使用済み容器の回収を行いました。また、今年からの新たな取り組みとして、「チェック会場」を設け、日々回収された容器が実際にリサイクル可能な状態であるか、回収した模擬店自身が点検を行うこととしました。それにより、模擬店を行う学生自身の「リサイクル」意識を高め、日を追う毎に回収数を高めて行くことに繋がったと思います。

その他、「リサイクルボックス」の維持管理については、模擬店実施委員会を中心に各学生団体協力のもと、設置、撤収作業を含めて行いました。

【回収結果】

回収数 8,568 個（昨年対比 34.2%増）

回収率 35.55%（昨年 30.27%）

回収数ならびに回収率について、昨年と比較しても「ゴミの削減効果」は大きかったと思います。

【回収後の処理】

回収された容器は、容器メーカー（株式会社 ヨコタ）にてペレット化し、再度リサイクル容器として再生される。

【総括】

摂津祭と言う、大学をあげてのイベントでリサイクル活動を行うことの意義は大きく、特に学生の方々が「リサイクル」に対する意識を高めていく良い機会かと思えます。今回のリサイクル活動では、2年目と言うこともあり、大学祭模擬店実施委員会が中心的な役割を發揮し、その他の団体についても多くの方が実施側として参加しました。今後も色々な団体を巻き込みながら、摂津祭でのリサイクルに取り組めればと思います。また、一人でも多くの学生が、回収された8,568個の容器が「ゴミ」として焼却されるのか、「資源」として循環して行くのか、この違いの大きさに気づき、今後のより積極的なリサイクル活動に繋がれば幸いです。

生協でのゴミ減量化・省エネへの取り組み状況について

甲南大学生協では、6年ほど前より、ゴミの分別及び減量化ならびにリサイクルに取り組んで参りました。そのため、従来は廃棄処分をされていたゴミが、分別され様々な回収ルートにより回収され、リサイクルされています。そのため、キャンパス内から排出されるゴミが年々減少する傾向にあります。

以下、生協での現在の取り組みならびに今後の検討課題についてご紹介します。

1. 個別ゴミ対策の状況

【現在取り組みを行っていること】

《缶》

- ・学友会館周辺に専用ゴミ箱を設置し、分別回収。
- ・大学へ缶分別、圧縮機を寄贈し、処理能力向上を支援（大学がアルミ、鉄缶を分別、圧縮、ブロック化し指定回収業者に渡す。）

《紙コップ》

- ・2001年4月より1号館3階ならびに5号館にデポジット回収機を設置し、回収。回収された紙コップは（株）アペックスによりリサイクル。

《ペットボトル》

- ・学友会館周辺ならびに学内に専用ゴミ箱を設置し、分別回収。回収されたペットボトルはコカコーラ（株）によりリサイクル。

《紙類》

- ・紙類については、廃棄を減らし上質紙、色紙ならびにパンフレット等に分別し、回収業者（かいこ組合）にて引き取り。

《廃油》

- ・食堂から出る廃油については回収業者により回収され、石鹼等にリサイクル。

《グリストラップの汚泥》

- ・大学に設置された機器を使用し、バイオ処理。

《割り箸》

- ・杉の間伐材を使った、樹恩割り箸を使用。
- ・洗浄室にて洗浄の後、梱包し王子製紙神埼工場（尼崎）へ引渡し、パルプ原料としてリサイクル。ダンボール約70ケース/年、約4,000膳/1ケース（約280,000膳/年）

《弁当容器》

- ・生協内製弁当については、リサイクル弁当容器または焼却可能な容器を使用。仕入弁当については、今後検討課題となります。

《包装ゴミ（組合員排出分）》

- ・容器包装リサイクル法の施行に基づき、容器包装リサイクル協会へ委託。

《ダンボール箱》

- ・納入先への引渡、または回収業者（かいこ組合）による回収。一部は、大学ゴミステーションに排出。

《トナーカートリッジ》

- ・Canon ならびに EPSON の専用回収ボックスを店内に設置し、回収。回収されたカートリッジはそれぞれのメーカーへ引き渡しリサイクル。コピー機のドラムカートリッジについては、ゼロックス社引き取りのもの再利用。

《事務用パソコン、家電4品》

- ・産業廃棄物法ならびに家電リサイクル法に則り、リサイクル業者による回収され、有価物（金属）を回収する方法でリサイクル。

【今後の取り組みとして検討していること】

《生ゴミ》

- ・食堂からの生ゴミについては、酵母処理等さまざまな処理方法を検討して来ましたが、生ゴミの種類が多種であるなど問題点もあり、生ゴミの水分を取り除く減量化が有効と思われ、現在検討をしています。また、コンポスト化についても再検討を予定しています。

2.省エネルギーへの取り組み

《電気》

- ・エアコンについては暖房時ならびに冷房時の温度を設定。
- ・コピー機については省エネタイプに随時切り替えを行い、自販機についても必要な数量に効率化することで、省エネに努めています。

《水道》

- ・学友会館ならびに学友会館北館の厨房ならびに共用部分に節水バルブの取り付けによる節水。

第 38 回摂津祭りサイクル容器回収数

2002 年回収数	丼（大）	丼（小）	トレー（大）	トレー（中）	トレー（小）	合計
11 月 20 日	211	109	0	290	332	942
11 月 21 日	276	575	0	155	1,006	2,012
11 月 22 日	302	657	42	261	1,201	2,463
11 月 23 日	343	890	186	312	1,420	3,151
2002 年度回収数合計	1,132	2,231	228	1,018	3,959	8,568
2002 年度販売実績	3,600	6,400	300	3,000	10,800	24,100
2002 年度回収率	31.44%	34.86%	76.00%	33.93%	36.66%	35.55%
2001 年度販売実績	4,800	6,400	1,600	3,100	5,200	21,100
2001 年度回収数	1,607	1,979	473	624	1,704	6,387
2001 年度回収率	33.48%	30.92%	29.56%	20.13%	32.77%	30.27%

第 38 回摂津祭りサイクル活動の振り返り会議記録

日 時	2002 年 12 月 10 日（火）午後 6：10～		
会 場	学友会館北館 2 階		
参加者	模擬店実施委員会	花戸 樋口	
	自治会中央委員会	谷川	
	スチューデントアクション	松田	
	生協学生委員会	武市	
	生協	長谷川	

【模擬店実施委員会】

大学内のゴミ箱にリサイクル容器を捨てないように告知を貼る。
 回収 BOX 横のポスターが目立ってなかった。実物をつけてみたら・・・。
 横からめくるのがわかりにくい。シートのはがし方がわかった方がいいのでは・・・。
 使わなかったリサイクル容器をどうするか。ゴミになっている。
 リサイクル BOX が透明だったら、汚れたものを後から捨てないのでは・・・。
 リサイクル方法について、看板に実物を貼り付けるなどより分かり易くする。
 店舗ごとのリサイクルランキングをつけ、来年の場所とりシード権を付与する。（リサイクルに参加しないところは参加出来ない）

【自治会中央委員会】

汁ものをつくる模擬店には洗ってからリサイクルへ回してもらおう。
 汁を捨てる場所（パケツ）をつくる。
 容器を捨てるときは、キレイな状態で捨ててほしい。
 容器の値段が高い。
 実行委員を一般に募る。または各模擬店ごとに 1 人ずつ出してもらおう。

【スチューデントアクション】

回収 BOX にもっと説明を入れる。before after など・・・。
 キッチンとした模擬店を見分けやすいようにする。（チェック会場で店舗名をチェックする）
 汁の回収場所をつくる。
 模擬店説明会で、キッチンとして無ければ出店停止にするなどのペナルティーを説明しておく。
 デポジット方式で、リストに基づいて返金する。
 容器を同じ向きできっちりとする BOX をつくってしまう。
 まめにチェックしてキレイなものだけにしていた方がいい。

【生協学生委員会】

参加者の連絡をとるために、トランシーバー等を使用すれば・・・。

チェック会場を学生部前にするなど、目立つところとする。

大学祭実施委員会もチェックに参加する。

回収状態のひどい模擬店は注意をしていく。ペナルティーなど。

ステージの舞台の合間にリサイクルの宣伝をしてもらう。外来者にもわかってもらうために宣伝してもらう。

ステージでリサイクル実演をする。ポスターは貼る場所が限られている。周りの人の意識を高める

(次年度について)

リサイクルへの取り組み方法について、より具体化しておく。

大学祭実施委員会も巻き込んだ取り組みに・・・。

実施委員会 6月中旬～7月初旬

模擬店実施委員会 8月中旬～9月初旬

(対策)

反省会の中で出てきた改善点を、来年の取り組み課題とし、次期の役員・担当者に確実に引き継ぎを行っていく。

新実行委員会は、引き継いだ改善点を踏まえて、今年度のリサイクルへの取り組みについて計画ならびに実行をする。

大学祭実施委員会と連絡を密にとりながら、計画実行をする。環境啓発シンポジウム報告資料

甲南大学第38回摂津祭りサイクル風景

実施期間2002年11月21日（水）～23日（土）





使い終わった容器はリサイクルBOXへお願いします。

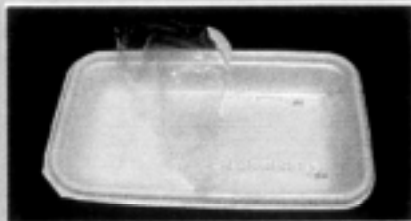
HOW TO RECYCLE

使われた容器は**キレイ**な状態でリサイクルBOXへお願いします。

1.ここを折って下さい。

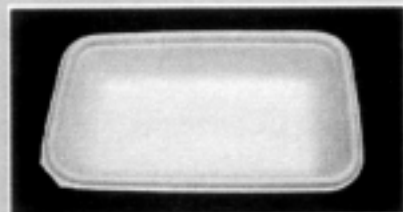


2.そのまま引っ張って



回収BOXの設置場所

3.容器は「リサイクルBOX」へ



4.はがしたシートと残飯はゴミ箱へ

皆様のご理解とご協力をお願いします。

私たちはリサイクルに取り組みます


Konan Univ Coop 環境問題への取り組み

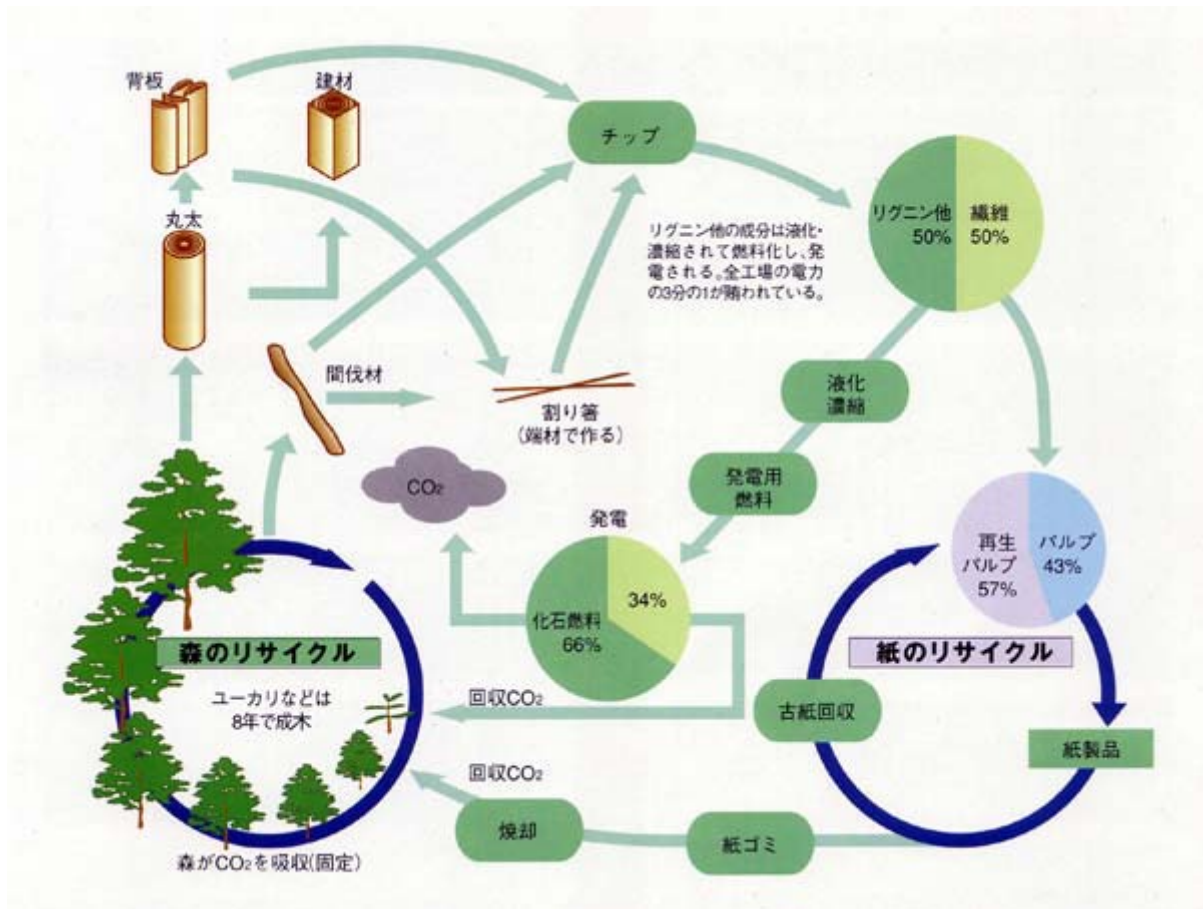
間伐材を利用した、割り箸の使用。

		<p>成長した木をある程度の周期で間伐することは森を守ることに繋がります。</p> <p>甲南大学生協では、徳島県・山城町森林組合及び福祉施設で製造される間伐材の端材を利用した割り箸「樹恩割り箸」を基本食堂・フードショップで使用しています。</p>
--	--	--

組合員のみなさまが、ご利用の割り箸は「紙」へとリサイクルしています。

		
<p>生協車2台で生協を出発！</p>	<p>王子製紙神崎工場に到着！</p>	<p>王子製紙の職員の方々が搬入を手伝ってくださいます。</p>

	<p>組合員のみなさまが食堂で利用した「樹恩割り箸」は、食堂部で洗浄されストックした後、生協職員が半年に一度のペースで王子製紙神崎工場に運びます。王子製紙(株)のご協力により、もう一度、春日井工場に運ばれた後、パルプとなり「紙」に再生されます。</p> <p>・数えてませんが、半年分の「割り箸」ストックです。</p>
---	---



王子製紙「環境報告書」より

その他の取り組み

[お弁当のリサイクル容器の使用](#)

[ゴミの分別回収](#)

[分煙への取り組み](#)

お問い合わせは...

[メインページへ戻る](#)

編集 スチューデント・アクション「甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ」
(甲南大学文学部・谷口ゼミナール)

発行 甲南大学文学部 谷口研究室
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1 甲南大学文学部人間科学科 谷口研究室気付
TEL/FAX : 078-435-2368 E-mail:fumiaki@konan-u.ac.jp

印刷 甲南大学 複写センター

発行日 2003年3月12日
